

平成29年度事業報告書

学校法人 緑ヶ岡学園

1. 法人の概要

(1) 法人の名称・所在地

法人の名称 : 学校法人緑ヶ岡学園
 法人の所在地 : 北海道釧路市緑ヶ岡1丁目10番42号

(2) 設置する学校・学科等

釧路短期大学 生活科学科、幼児教育学科
 北海道釧路市緑ヶ岡1丁目10番42号
 武修館高等学校 全日制課程・普通科
 北海道釧路市武佐5丁目9番1号
 武修館中学校
 北海道釧路市武佐5丁目9番1号
 釧路短期大学附属幼稚園 3歳児、4歳児、5歳児
 北海道釧路市緑ヶ岡1丁目10番42号
 専門学校釧路ケアカレッジ介護福祉科（平成29年4月1日より募集停止）
 北海道釧路市緑ヶ岡1丁目10番42号

(3) 入学定員、総定員、学生数の状況

(単位：人)

収 入		入学定員	総定員	入学者数	総学生数	充 足 率
短期大学	生活科学科	50	100	42	85	85.0 %
	幼児教育学科	50	100	50	90	90.0 %
	計	100	200	92	175	87.5 %
武修館高等学校	普通科	140	420	154	342	81.4 %
武修館中学校		40	120	18	60	50.0 %
短期大学附属幼稚園			105	22	78	74.3 %
専門学校 釧路ケアカレッジ	介護福祉科	40	80	0	6	7.5 %
学 園 合 計		320	925	286	661	71.5 %

(4) 理事・監事・評議員・教職員の概要等

理 事 定数 7名～10名 現員 7名
 監 事 定数 2名 現員 2名
 評議員 定数 15名～22名 現員 18名
 教職員

	専任教員	専任職員	兼務教員	兼務職員	計
短期大学	18 人	14 人	42 人		74 人
武修館高等学校	28 人	6 人	13 人	4 人	51 人
武修館中学校	6 人	3 人	11 人	1 人	21 人
短期大学附属幼稚園	8 人		4 人	3 人	15 人
専門学校 釧路ケアカレッジ	4 人	2 人	11 人		17 人
学 園 合 計	64 人	25 人	81 人	8 人	178 人

2. 事業の概要

(1) 釧路短期大学

釧路短期大学は、北海道東部地域の豊富な学習資源を基盤に、図書館司書・栄養士・保育士・幼稚園教諭など専門的職業人を育成している。学生の8割以上が地元出身であり、教育理念の重要な柱に「地域貢献」を明示し、地域密着型教育の定着・拡充をすすめている。平成29年度は、第2次地域共創型プロジェクトの展開時期を迎え、行政、商工業、教育機関及び文化団体等との交流・連携をすすめ、教育の充実と人材育成に一層力を入れ、以下の事業を行った。

1. 教育活動

- ①平成30年度以降の教育課程の一部改定作業（ビジネス実務系科目の編成・内容の見直し）を中心とし、科目「地域活動」では近隣商店街のシンボルマーク案を学生が作成・提案するという顕著な成果をあげた（生活科学科生活科学専攻）
- ②食と栄養に関する学修の成果を生かし、各種のレシピ・料理コンクールに参加し、全国準グランプリ受賞などの成果をあげ、また、地域食堂、災害食レシピの活用、高校生アスリート対象の栄養アセスメントなどによる地域貢献を展開した（生活科学科食物栄養専攻）
- ③幼児教育学科では、「第4回KJCランド～子どものあそびの日」（学生企画・運営、自治体・地域団体協力、親子約610名参加）を実施した（1/21）。学生の表現活動の質向上、地域からの認知度の高まり、関係団体等との連携の深まりを得られた
- ④認定こども園法改正に伴う幼稚園免許状授与の所要資格の特例講座（現職保育士対象）を前年に続き開講した。
- ⑤全学あげて主体的な学習への転換と社会性伸長のため、学習環境整備をすすめた
 - i ラーニング・コモンズの利用をすすめ、学生の主体的集団的な授業外学習の定着を図った
 - ii アクティブ・ラーニング、地域貢献活動（授業）の推進支援を行った
- ⑥FD・SD活動を行った
 - i FDは授業評価・公開授業・研修を定期的実施し、授業改善を推進した（研修内容は、定例の授業実践報告会他、「困難を抱える学生への支援」、「著作権」などの講演）
 - ii SD研修を実施した（テーマは、経営・財務、経営・教育改革の体制、発達障害支援など）
- ⑦地域で活躍する人材をゲストにした「招待授業」を実施した（17講座）
- ⑧教育改革推進予算（学長裁量経費）により教育改革の情報収集活動を実施した
- ⑨学園内の高校と連携協議を実施し、初年次教育を試行した

2. 地域共創型プロジェクト（第2次）の取組

- ①学生企画の地域連携事業として、「地域との共同企画販売」、「こどものための音楽と遊びの集い」、「KJCランド～こどものあそびの日～」、「国際交流のための観光ガイドブック製作」、「地域の商店街シンボルマークの提案」などを実施
- ②学生ボランティアへの地域派遣活動を実施（のべ40名の学生が参加）
- ③管内高等学校へ「高校生のための出前講座」を実施（10件）
- ④自治体との相互協力協定による相互協力事業（木育講座、食育講座、子育て支援、キクイモ活用の研究、地元の食材を利用したメニューの考案、教員の派遣）を推進し、例年通り所管部署間の協議を実施し確認
- ⑤地域企業との連携協力（公民館での地域食堂）を実施
- ⑥学内機関（生涯教育センター）の事業として各種知的資源を地域社会へ提供・開放（道東文化塾7件、リカレント講座2件4回、イブニング講座15回、ライティング支援講座8回など）

- ⑦地産地消の推進をするための連携組織（くしろ地産地消ネットワーク）に参加
- ⑧地域貢献活動を通し、学生の主体的な学びを促進するために必要な経費を支援する「地域教育活動支援経費」を継続

3. 学生支援体制の整備

- ①ハローワークくしろによる就職サポートルームを学生相談室に置き、学卒ジョブサポーターによる就職相談、求人紹介、面接指導等を継続
- ②全求職者のハローワーク求人登録を推進
- ③ゼミナール担当教員による就職サポートの強化
- ④ジョブカフェ北海道、ハローワークによる就活セミナーのほか、電話応対、就職メイク講習、卒業生による就職講演会等を開催
- ⑤卒業時に就職支援に関するアンケート調査を実施（5年目）
- ⑥求人票に最新求人のマークや役立つ情報を追記し、学生が活用しやすいよう整備
- ⑦過去5年間に本学卒業生の採用実績がある事業所179ヶ所を対象に「職場が求める人材調査～地域に役立つ人材教育に向けて～」を実施
- ⑧学生の相談体制を継続（健康調査により事前に傾向を把握、支援の早期化を検討）
- ⑨学生による環境整備活動「釧短キャンパス環境ネットワーク」（任意登録）により主体的に学ぶ環境づくりを推進（校地内・町内清掃ほか実施）
- ⑩ワークスタディ学習奨励金制度により、4名の学生が学内業務に従事
- ⑪ピア・サポートを実施し、学生相互の成長と交流をはかった
- ⑫同窓会奨学基金制度による修学資金給付を実施（導入3年目、奨学生4名）
- ⑬学生研修講座を開催（「自分の体を知ろう」、「自動車保険と社会的責任」「年金セミナー」）
- ⑭初年次教育プログラムの一環、司書による文献探索講座等を実施（4回）
- ⑮英語の苦手を克服する「英語補習授業」を継続実施（5年目）
- ⑯社会人のキャリア形成支援となる「専門実践教育訓練講座」（厚生労働省）の継続・拡大を図る（幼児教育学科「保育士専門実践教育訓練講座」指定4年目、生活科学科食物栄養専攻「栄養士専門実践教育訓練講座」新規指定）

4. 附属図書館

- ①図書館蔵書管理システムおよび蔵書検索システムを継続して運用した
- ②平成29年度の図書館利用状況 蔵書冊数－44,093冊 入館者数－26,879人
貸出冊数 学生－3,715冊 教職員－1,029冊 学外者－1,428冊 合計5,632冊
学生一人あたり貸出冊数－18冊
タブレットPCの館内貸出－183件
- ③ライティング支援機能について、学生、教職員に向けての広報の充実を図った。
9月に発行された島村高嘉著『釧路随想』（株式会社藤プリント印刷）に編集協力を行った
- ④市民向け公開講座「道東文化塾2017」（全7回）、「自分史講座3rd」（全8回）を実施した
- ⑤学生の学習支援、教職員の研究・教育・地域貢献の支援、利用しやすい蔵書・情報のアクセス構築、学生の学習の場としての業務を志向した

5. 自己点検・評価活動

- ①各部門の点検評価を実施した
- ②「平成28年度自己点検・評価報告書」を作成・公表した
- ③平成30年度からの認証評価第3期への準備を始めた

(2) 武修館高等学校

高等学校は、釧根地区唯一の私学として、独自の伝統と校風に基づき、「地域から

必要とされる私学」、「地域から期待される私学」を目指し、校訓「愛と奉仕に生きる」の精神に基づき「社会の良き形成者としての資質と教養を身につけるとともに、愛と奉仕に生きる人間を育成する」ことを目標としている。

伝統あるスポーツ部の活動に加え、国際交流やボランティア活動などの充実発展に努めるとともに、近年はこれまでの教育活動の流れを基本に、より高い学力や豊かな教養を身につけ「自分の将来を自分の意思で決定することのできる人材の育成」に重点を置いた教育を展開してきた。

- ①一貫コース生と普通コースの大学進学希望生徒に対して、受験専門家による特別授業・課外授業を実施し学力向上を図った。(井崎講師(英語)、大谷講師(数学))
- ②三大奉仕活動(市内一斉清掃・全国車いすマラソン・献血奉仕)をはじめとする奉仕活動を継続した。(一般社団法人日本善行会の「全国善行賞」受賞)
- ③地域にも定着した武修生の挨拶・礼儀の徹底を継続し、新制服への移行に伴う正しい着こなしの徹底を図った。
- ④公立高校配置計画に対する対応策を検討し、本校の教育活動の検証を進め、学校改革に繋げた。(多くの選択科目設置及びガイダンス機能を充実した教育課程の編成、教務内規の改定、普通・体育コース混合クラス編成等)
- ⑤ホームステイを中心に語学研修を目的としたオーストラリアでの見学旅行を実施し、異文化への理解の深化を図った。
- ⑥漢検・英検・数検の講座を導入するなど、各種検定対策講座の充実を図った。
- ⑦2年生全員を対象にインターンシップを実施した。
- ⑧進路実績 進学100%(92.7%)、就職93.8%(84.8%) ※()内数字は前年度のもの

	国立大学	公立大学	私立大学	私立短大	専修各種	計	卒業数
H29	3	5	32	9	18	67	97
H28	1	3	28	2	17	51	88
H27	4	5	26	3	11	49	77
H26	2	3	27	6	13	51	88
H25	3	2	20	5	31	61	100
H24	2	2	39	10	27	80	113

国公立大学(北大、室蘭工大、札幌医大(医学部)、釧路公立大4名、横浜市立大) 準大学(防衛大学校) 私立大学(中央大2名、関西大、法政大、東海大等) 公務員 刑務官、自衛隊

- ⑨修学支援制度の活用と促進を図った(保護者への周知徹底)
(就学支援金・授業料軽減・北海道高等学校奨学会・日本学生支援機構)
(兄弟姉妹授業料減免・経済支援奨学生)
- ⑩交通安全への意識向上を図った。(市内交通安全大集会への参加)
- ⑪学校行事への保護者の支援・協力体制を構築し、PTA活動の活性化を図った。
外部講師を招聘してのPTA研修会の実施、湿原強歩大会での炊出し)
- ⑫経費節減を継続実施した。
- ⑬生徒募集の強化を図った。 新入生154名の確保
- ⑭教育内容の検証を通して教職員の意識改革を図った。
- ⑮主要行事報告
4月10日 第54回入学式(154名)
4月14日 市内一斉清掃奉仕活動(三大奉仕活動・中高合同)
5月10~12日 1学年宿泊研修(2泊3日) ネーパール足寄
5月19日 I A C (インターアクトクラブ)・J R C (青少年赤十字) 加盟登録式(中高合同)
7月 7- 8日 「武窓祭」(中高合同)
7月16日 釧路湿原全国車いすマラソン大会奉仕活動(三大奉仕活動)(中高合同)
10月13日 「体育祭」
10月23日 見学旅行 (国内 4泊5日 国外 5泊6日)

- 11月 8- 9日 献血奉仕活動（三大奉仕活動）（中高合同）
- 1月20日 推薦入学試験（49名合格）
- 2月16日 一般入学試験
- 3月 1日 第52回卒業式（97名）

(3) 武修館中学校

中学校は、校訓「愛と奉仕に生きる」の精神に基づき、併設型中高一貫校の利点を生かし、6年間の教育を通し、「高い知性と豊かな心を持つ生徒の育成」を目標に、平成17年度開校した道東唯一の私立中学校である。本校の願いは「自らが考えや計画をもって、自分の課題や目標に挑戦できる生徒を育成する」ことである。

これらのことを実現すべく以下の事業を重点的に実施した。

- ①異文化理解や英語に対する興味の深化を図るグアム見学旅行の中止（危険回避）による平和教育に重点を置いた長崎校外研修を実施する。
- ②大学受験予備校模擬試験の全学年受験を実施した。（進路意識の向上）
- ③個別指導の強化を図った。
- ④自主性を重んじた課外学習を実施した。（火・木7時間目、英数国の実施）
- ⑤漢検・数検・英検の上位級合格を目指した講習の充実を図った。
- ⑥ボランティア活動を継続した。（市内一斉清掃・車いすマラソン他に地域高齢者とのふれあい）
- ⑦体育的行事の内容の充実を図った。（中高合同の体育祭の実施、スケート教室の実施）
- ⑧キャリア教育を充実した。（職場体験の実施）
- ⑨経費節減を実施し節約に努めた。
- ⑩主要行事報告

- 4月10日 第12回入学式（18名）
- 4月15日 市内一斉清掃奉仕活動（三大奉仕活動・中高合同）
- 4月28日 学力推移調査
- 5月 8日 漢字英単語テスト
- 5月19日 J R C（青少年赤十字）加盟登録式（中高合同）
- 6月14-16日 1学年宿泊研修（2泊3日）
- 6月17日 第1回オープンスクールを実施
- 6月21日 職場体験
- 7月 7- 8日 「武窓祭」（中高合同）
- 7月16日 釧路湿原全国車いすマラソン大会奉仕活動（三大奉仕活動）（中高合同）
- 8月 2日 夏期合宿講習（北大見学 クラブユニック講習 4泊5日）
- 8月19日 推薦入学試験
- 9月14日 全校遠足（徒歩）
- 10月10日 河合塾模試
- 10月13日 体育祭（中高合同）
- 11月15日 地域高齢者との交流ボランティアの実施
- 11月18日 第2回オープンスクール、入試問題研究会の実施（体験授業）
- 11月20日 学力推移調査
- 12月 7日 校外研修の実施（長崎にての平和学習 2学年 4泊5日）
- 12月16日 学力入学試験
- 1月26日 スケート教室
- 3月17日 第11回卒業式（16名）

(4) 釧路短期大学附属幼稚園

- ①基本方針（教育目標）
 - i 明るく元気に遊ぶ子ども

- ii 素直で優しい子ども
 - iii 最後までやりぬく子ども
- 3つの教育目標を達成する為、教職員は日々の保育を計画・実践する
- i 子ども達の遊びを応援する幼稚園
 - ii 卒園後も見守る幼稚園
- この2つの方針のもと進めていく

②平成29年度事業特色

- i 各クラス2名職員による設定保育と全職員による自由遊びの保育
- ii 幼小連携の継続と強化
- iii 卒園児お泊まり会の継続による卒園後の支援
- iv ふぞく祭（バザー）の継続による地域開放・保護者との連携
- v 子育て支援事業の拡大（カンガルークラブの継続と充実）
- vi 固定遊具の安全点検の継続と防災・減災対策・衛生面の向上

③通常事業

- i 体験重視の保育内容＝園外保育の拡充
- ii 釧路短期大学との連携強化（短大の講義に参加）
- iii 預かり保育の実施＝働く保護者の支援
- iv スケート保育＝地域性を生かした保育
- v 祖父母交流会の開催
- vi 学校評価・自己評価の実施
- vii 行事の充実発展
- viii 父母総会・懇談会・役員会の実施

④職員数及び園児数（2018. 3. 31）

		平成27年度	平成28年度	平成29年度
職員数	園長	1	1	1
	教員	7	7	7
	教員【パート】	3	3	4
	職員	0	0	0
	職員【パート】	2	3	3
園児数	5歳児	28	25	25
	4歳児	23	26	34
	3歳児	20	28	21
	満3歳児	5	4	9
	計	76	83	89
	カンガルークラブ	24	17	13

3. 財務の概要

(事業活動収支計算書)

(単位：千円)

		H27年度	H28年度	H29年度	備 考
教育活動収支	収 入	664,218	714,494	735,287	
	支 出	660,268	674,111	672,522	
	収支差額	3,950	40,383	62,765	
教育活動外収支	収 入	119	57	30	
	支 出	1,343	1,202	1,060	
	収支差額	△ 1,224	△ 1,145	△ 1,030	
経常収支差額		2,726	39,238	61,735	
特別収支	収 入	4,837	15,158	2,914	
	支 出	0	7,182	3,496	
	収支差額	4,837	7,976	△ 582	
帰属収支差額		7,563	47,214	61,153	
基本金組入れ額		23,693	26,670	12,122	
消費収支差額		△ 16,130	20,544	49,031	

人件費総額	465,008	452,731	468,526	
補助金総額	257,064	315,153	328,712	
借入金の推移	189,890	182,680	164,470	
翌年度繰越金（自己資金）	293,099	343,086	414,577	
学生・生徒数（人）	613	621	661	
	教73、職30	教70、職31	教68、職33	